

日風堂

〈高知県立歴史民俗資料館だより・おこうふうじつ〉

第51号

2004年9月1日

特別展

土佐国分寺―四国八十八ヶ所霊場①―展に寄せて

国分寺長老 林 廣裕

この度、高知県立歴史民俗資料館で、一〇月一日より一二月七日までの間、特別展「土佐国分寺―四国八十八ヶ所霊場①―」が開催される運びとなりました。

国分寺はご承知のように、天平一三年（七四一）聖武天皇の勅願により、総国分寺である奈良県の東大寺を中心に鎮護国家・万民豊楽・五穀豊穰祈願の道場として当時の国庁所在地六〇有余に亘り建立され、各地方の文化的施設としても中心的役割を果たしておりました。

しかし、平安時代末期には律令制の崩壊と共にその存在意義が薄れ、また戦乱等による火災や時の権力者からの法難により退転した国分寺も多くあったと思われまます。更に近代になって、明治四年（一八七二）の廃仏毀釈や第二次世界大戦後の農地解放の影響等により寺領や境内地を失いました。創建以来すでに約一、二六〇年余の歲月を経て、国分寺跡として遺跡が残るだけのところもあります。

この様な状況の中、幸いにも四国の

四ヶ所の国分寺は、室町時代に成立したと考えられる四国八十八ヶ所霊場にそれぞれ組み入れられ、大衆の信仰心に支えられて創建時の規模には及ばないもののその存在を今に伝えて来ております。

なかでも土佐国分寺の場合は、長宗我部国親・元親により永禄元年（一五五八）九月に金堂が再建されて以来伽藍の整備が進み、本坊の宝蔵院を始め一和尚坊・中ノ坊・北ノ坊・西ノ坊・別当坊の五坊が置かれていました。

長宗我部氏の滅亡後、慶長五年（一六〇〇）に山内一豊公が初代土佐藩主として入国、逸早く新たに寺領三町の所有を許されたことが寺領寄進状にみえています。二代藩主忠義公の時代には、諸堂の復興が進み、寛永一〇年（一六三三）には大師堂、慶安二年（一六四九）には閣殿、明暦元年（一六五五）に仁王門が新たに建立され、境内地は一段と充実し輪奐の美を備え、そして久礼田村在天寺（南国市）、新改村長久寺（土佐山田町）、平山村釋尊寺（土佐山田町）の三ヶ寺を末寺に

擁していました。江戸時代を通して土佐における主要寺院の一つとして、藩の庇護を受けつつ寺院運営がなされて来ました。元親時代以降の歴代住職の名も古文書に記録が残っています。歴代住職の努力もあり、ほぼ現在の規模で伽藍の維持が続けて来られたものと考えられます。しかし、廃仏毀釈により本坊を除く脇坊及び末寺は悉く廢寺となり、さらに農地解放で寺領も全て失われてしまいました。

これら、幾多の変遷を経ながらも大切に守られ保存されてきた境内地や伽藍、それに仏像等の什宝の中で、国分寺金堂が明治三七年（一九〇四）国指定の重要文化財建造物に指定されています。また、境内に土塁や土壇が残存していることから、寺域が大正一一年（一九二二）国の史跡となり、創建時代の梵鐘一口と木造薬師如来立像二軀（平安時代・鎌倉時代）もそれぞれ国指定重要文化財となっています。

また近年、金堂再建時内陣に設置された須弥壇と本尊を納めた厨子、及び室町時代作とされている絹本両界曼荼

特別展

土佐国分寺 ～ 四国八十八ヶ所霊場① ～

期間 平成二六年一〇月二日(金)～二一月七日(日)

羅図は、県指定の文化財に、極めて珍しい板絵光明真言曼荼羅図（金剛界・胎藏界）は、市の文化財に指定されました。

この度、特別展「土佐国分寺―四国八十八ヶ所霊場①―」に於ける出展品は、須弥壇と厨子を除くこれら指定文化財と、境内の発掘調査により出土した古瓦や富壽神寶や海獣葡萄鏡片等の埋蔵文化財、大師堂建立時に製作された真言八祖像（寛永一一年（一六三四）銘）、江戸時代以降の境内配置図や古文書、そして、歴代の住職より伝えられた仏像や仏画等です。

これらの寺宝を一堂に展示し多くの方々に観て頂くことは、初めての試みです。これは、土佐国分寺史上に於いて大変意義深いことでもあります。それは一つには、国分寺に残された宝物の一つ一つが、土佐の各時代の文化や歴史的状况を知る重要な手掛かりとなるものであるからです。今一つは、これらの展示資料を通して人々に文化財や地域の歴史に関心を持って頂く良き機会を提供することが出来ることです。

これは、国分寺にとり大変有り難く私にとりまして無上の喜びとなりました。最後になりましたが、館の関係者のご尽力に、心より感謝いたします。

この特別展で、多くの県民の方に仏教美術品に触れていただければ幸いです。

高知県の中央部、南国市を流れ浦戸湾に注ぐ国分川右岸の田園地帯に、木々に囲まれた古刹、国分寺が建っています。

寺は、聖武天皇によって建てられた土佐国分僧寺跡として国の史跡となつています。その法燈は、現代も受け継がれ、四国霊場第二九番札所国分寺（真言宗）として多くの人々の信仰を集めています。

聖武天皇によって国ごとに建立された国分僧寺は、別称「金光明四天王護



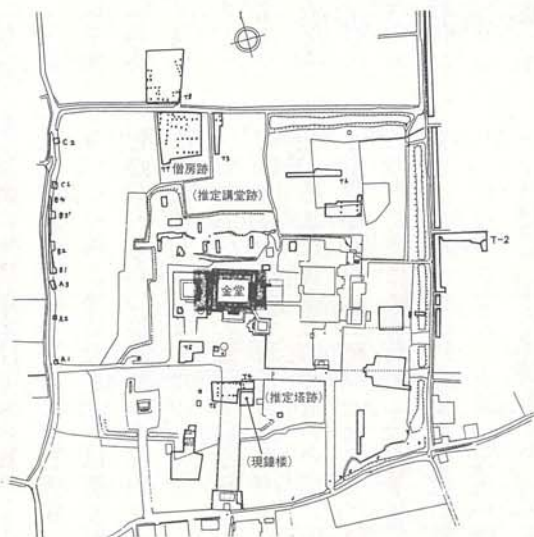
国分寺空撮 南東から（国分寺提供）

国分寺」といいます。同時に建立が命じられた国分尼寺は、「法華滅罪之寺」と呼ばれています。国分の「分」は、割り当てられたの意味で、この国家的な事業は、宝亀年間（七七〇～七八一）ころに、ようやく完成をみたようです。少し、土佐国分僧寺が造られた以前に当地にだれが住んでいたのか、発掘の成果からみてみましょう。

一九七七年、書院（南側

客殿）改築の発掘調査で、弥生時代後期中葉～末までの竪穴住居跡一棟と古墳時代前期の竪穴住居跡一棟がみつかっています。大師堂前の発掘調査では、弥生時代末から古墳時代初頭の方形竪穴住居跡、本堂及び大師堂周辺の調査で古墳時代後期の竪穴住居跡が確認されています。このことから当地には、弥生時代より集落が営まれていたことがわかっています。

土佐国分僧寺が建てられる前の



土佐国分僧寺跡調査概要図

遺構として七世紀中ころから八世紀前半の東西方向の二間×三間の掘建柱建物跡一棟が、国分寺北方から見つかっています。さらに、現在の鐘楼に隣接して東西方向の三間×六間の掘建柱建物跡一棟が見つかっており、寺院に行する建物跡の可能性もあります。

国分寺の寺域は、方形プランを基本としていますが、実際には地形に制約を受けて変形している場合もあります。一辺が二町ほどのものが多く、一町くらいのもものもあります。土佐国分僧寺



発掘された建物跡（国分寺北方）

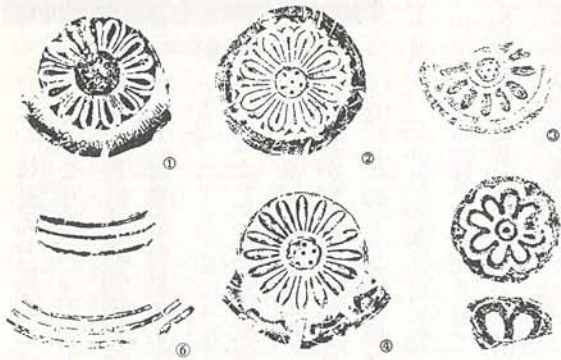
の寺域は、東西五〇〇尺、南北五〇〇尺と推定されています。伽藍配置は、発掘調査では明確にされていませんが、南大門、金堂、講堂が一直線に並び、塔が一基ある伽藍配置と推定されています。



土佐国分僧寺跡塔心礎

国分寺は七重塔を原則としていますが、五重塔もあります。土佐国分僧寺は三重塔と考えられています。塔の位置は、発掘調査では明確になっていませんが、東南部の歴代墓地在有力地とされています。国分寺北方では、僧房跡と推定される掘建柱建物跡や柵跡、西面廻廊跡と推定される遺構が発見されています。

土佐国分僧寺の発掘調査で出土した遺物には、軒丸瓦、軒平瓦、平瓦や丸瓦などがあります。軒丸瓦は、現在まで文様が異なる五種が確認されています。また、軒平瓦は、三重弧文一種です。出土瓦には、焼けた瓦類があり、灰燼処理のためこれらを集めた瓦溜が見つかっています。焼けた瓦は、土佐



土佐国分僧寺跡出土瓦拓本

国分僧寺の創建期の建物が火災にあったことを示しています。その時期は、平安時代後期と考えられています。



木造薬師如来立像（国指定）

す。

国分寺には、梵鐘を吊した鐘楼があります。土佐国分僧寺の創建期の鐘楼跡は確認されていませんが、国分寺には創建当初の平安時代前期の梵鐘（国重要文化財）が残っています。ただ現在には用いられていません。

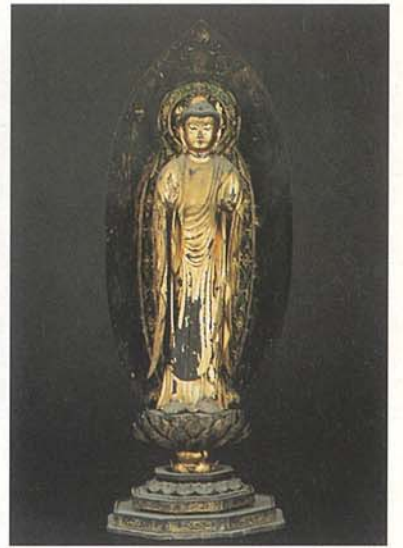
さて、土佐国分僧寺の本尊は、どんな姿なのでしょう。国分寺創建当時の仏像は、現存していません。平安時代には、創建当時の伽藍や仏像は残っていたようですが、後に伽藍が炎上したのもあり、残っていません。国分寺創建時の本尊は、丈六（坐像で約



梵鐘

二・七m）の釈迦如来坐像であったと考えられています。周防国分寺では、室町時代の薬師如来坐像の胎内から旧本尊の仏手が見つかっています。この仏手の像名は不明ですが、製作年代が十一世紀の後半と考えられ、丈六の仏像の手と考えられています。

さて、土佐国分寺の現在の御本尊は、室町時代の木造千手観音像（像高九三cm）です。土佐国分寺で最古の仏像は、平安時代後期の薬師如来立像で、像の高さは九九・六cmで国の重要文化財に指定されています。全体に修理され、両手先、両足先、薬壺、台座は、いずれも後補です。台座には、「護国寺薬師（種子）」と墨書されています。「護国寺」は、先に述べた金光明四天王護国之寺のことと考えられます。平安時代には薬師信仰が盛んになり、土佐でも平安時代後期に薬師如来立像が造像されて本尊として信仰されていたと考えられます。この薬師如来立像は、



木造薬師如来立像（国指定）

は、ほとんど明確にはされていません。発掘調査では、室町時代～戦国時代の遺構が一部確認されているのみです。

しかし、伝世資料等の中に土佐国分寺の様相を示す資料が、今回確認されました。その一つに絵画資料が



弘法大師画像

土佐の国分寺の法燈の展開を物語る貴重な資料です。高知県内での弘法大師信仰に関する絵画の確認は、四国八十八ヶ所の資料として以下の資料も含め極めて重要な資料といえます。もう二

点、本堂に掲げられている板絵両界光明真言曼荼羅（金剛界・胎藏界）があります。一つは、直径二・一五mの胎藏界の大日如来を描き、周辺に光明真言を書いた曼荼羅です。

もう一点も、直径二・七mの巨大な金剛界曼荼羅の板絵です。前者からは、慶長年間（一五九六～一六一五）の年号が確認されています。実は、両

者共に土佐神社の善楽寺にあった資料で、明治期の廃仏毀釈のおりに国分寺に移され難を逃れた貴重な資料です。弘法大師信仰と深く関わる資料で初めて公開される資料です。

国分寺には古文書も現存しています。しかし、史料の大半は江戸時代の住職が記した記録や、五台山や奉行所など

に提出した文書の覚書であり、中世の史料は皆無に等しい状態です。

守護や守護代、国人領主といった、本来国分寺を庇護したはずの権力者から発せられた様々な記録がないため、具体的な中世の国分寺の姿を見ることができないのは残念ですが、僅かに一点、近世初頭期（秦藤交代期）を象徴する史料として、入国間もない山内一豊が発給した「寺領安堵状」と三町分の寺領を抜き書きした「坪付」（安堵状と同一卷子）が現存しています。

民心安定のため、一豊がこの種の安堵状や判物を積極的に各地の寺院に与えたことは知られていますが、多くは現存していません。

国分寺の場合、横川末吉氏の研究によつて、長宗我部時代に約九町の寺領があったことが確認されていますので、本史料によつて同寺の寺領は三分の一に減らされたことが分かります。こういった措置は、他の土佐国内の寺院でも同様であり、古刹の保護とはいっても、先代国主であった長宗我部氏とつながりの深かった寺院の経済力は確実に削ぐという、厳しい政治的な現実を今に伝える重要史料といえましょう。激動の時代を乗り越えてきた国分寺に今日もお遍路さんの鈴の音が響いています。

国の文化財に指定された明治四四年（一九一三）に、現本堂の天井裏から発見された仏像です。土佐国分寺には、もう一軀国の重要文化財に指定されている鎌倉時代の薬師如来立像があります。高さは三五cmで光背があります。この光背の裏面には、応永二三年（一四一六）の修理をした時の銘文が残っています。

現在までの土佐国分僧寺跡の発掘調査で、土佐国分僧寺に先行する堂舎・堂宇が当地に先にあり、その後国分僧寺へ移行したとする説もあります。今後の発掘調査によりさらに明らかになると思われます。なお、土佐国分尼寺跡は、現在の南国市比江の白鳳時代創建の比江廃寺（地方豪族氏寺）が、土佐国分尼寺に転用されたと考えられています。そして、土佐国分僧寺も律令体制の衰退とともに古代寺院としての終焉を迎えます。

中世の土佐の国分寺の様相について



板絵両界光明真言曼荼羅胎藏界（市指定）

あります。高知県の文化財に指定されている、室町時代と推定されている絹本着色両界曼荼羅胎藏界・金剛界各一幅（本紙約縦一五三cm・横一三八cm）があります。また、今回の展示資料調査で室町時代と考えられる絹本着色不動明王二大童子像一幅、絹本着色不動明王八大童子像一幅が確認されました。また、室町時代に遡る絹本着色弘法大師像が確認されたことは、驚きでした。これらの資料は、今回公開されますが、

考古学教室

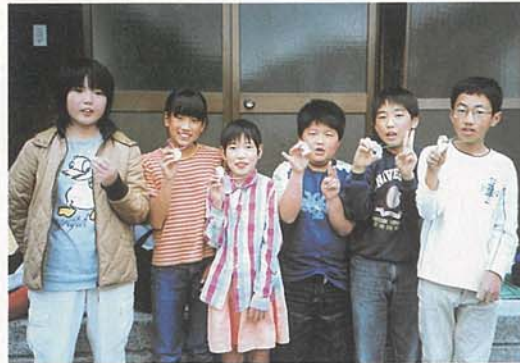
葉山村立白石小学校

四月二十七日（火）葉山村立白石小学校へ二名の職員が向き、六年生対象に考古学教室、体験学習を実施しました。

白石小学校では修学旅行の事前学習として歴史学習に取り組んでいました。特に、旅行先の岡山県吉備地方の古墳について調べていました。その授業を深めるために、「考古学教室」を特設授業で設け、歴史館の職員が講師として招かれました。



「考古学教室」では、六年生が学んでいる古墳時代の話を中心に、古墳の歴史・形・大きさ・副葬品などを説明しました。館から須恵器の実物資料を持参し、子ども達に触れてもらいました。教科書や資料集の写真ではなく実物の資料に



触れ「厚くて、重みがある」という子ども達の感想が聞こえてきました。実物資料より伝わる感触が歴史の重みを伝えることができたと思います。体験学習は「勾玉づくり・火おこし」を行いました。勾玉づくりでは形を気にしながら懸命にロウ石を削っていました。火おこしでは六名が力を合わせ、交代しながらヒキリキネを回し、見事に火を付けることができました

今回の出張授業は、館で取り組んでいる教育普及（学校対応）事業を学校現場に持ち出すことにより、実物資料に触れ、体験を通して体感的に歴史や文化を学ぶ機会を提供できたと考えております。また、学校対応に、より広がりを持たすことにもつながりました。最後に白石小学校六年生から心温まるお礼の手紙をいただきましたので紹介します。

僕はまが玉が作れるとは思っていませんでした。けどじっさいにろう石でまが玉が作れてよかったです。

古墳時代の話では、おかんを開けたらまだ完全に腐っていない、ウジ虫がわいていたという話を聞いてびっくりしました。火おこしも一回だけやったことがあるけど、先生達のお陰でとてもうまくいきました。

わざわざ、南国市から来てくれてありがとうございました。

西森 公也

岡本さん、泉さんこの前はわざわざ南国市から来てくれてありがとうございました。

私、歴史民俗資料館の人が来てくれると聞いて、とても楽しみにしていました。勾玉も作ってみましたので、うれしかったです。古墳時代の話もとてもおもしろかったです。勉強になりました。土器も本物をさわらせてもらえてよかったです。火おこしはとても腕が疲れました。その時は助けてもらって、火がつきました。火がついた時はとてもうれしかったです。勾玉は仕上げをやってほしい、全校の人数分ろう石をもらえてうれしかったです。

遠い所から来てくれて本当にありがとうございました。今度は資料館に行ってみようと思います。

西森みさと

岡本さん、泉さんこの前はわざわざ南国市から来てくれてありがとうございました。

火おこしや勾玉作りなど貴重な体験をさせてもらって、とても楽しかったです。火おこしはあんなに疲れるとは思っていませんでした。風が吹いていて少し怖かったけど、泉さんが風を防いでくれたので安心してできました。疲れてきたら「ハイハイあと20回」と励ましてくれたので、とても助かりました。

貴重な体験をたくさんさせていただきありがとうございました。

今橋かなよ

今までに知らない昔の話をしてくれてありがとう。それと岡本さんの宝物の土器も本物をさわらせてくれてありがとう。

泉さんが勾玉を作っている時、穴を開けてくれました。岡本さんがきれいに削ってくれてうれしかったです。

そのあと、僕がもうちょっと削っていたら、泉さんが勾玉の先をとがらせてくれました。水で洗って見たらきれいになってよかったです。火おこしをする時、なかなか火がつかなくて岡本さんが手伝ってくれました。やり方がわかってきたので、火を付けることができました。とてもうれしかったです。いろんなことを教えてくれてありがとうございました。

西森 勝志

岡本さん、泉さんわざわざ南国から白石まで遠い所来て下さってありがとうございました。

古墳時代のお話では、古墳の形や大きさを資料と分かりやすく説明してくれてとても分かりやすかったです。本物の土器「すえき」を持たせてもらってうれしかったです。厚くて重みがありました。次に勾玉づくりもさせてもらいました。ろう石を紙ヤスリでこするといっばい粉が出て目に入ったりしました。でも完成すると自分が偉い人みたいに思えました。

火おこしは最初、力を入れてやっていたので火種ができるまでが長くてすごくしんどかったです。勾玉作り、火おこし、貴重な体験をさせてもらってありがとうございました。

西森せれな

岡本さん、泉さんわざわざ歴史民俗資料館から来て、勾玉作りや火おこしを体験させてくれたり、古墳時代の話をしてくれてありがとうございました。日本に何百メートルもあるお墓があるとは思っていませんでした。こんな大きな墓を作るのに何年もかかるというのもびっくりしました。修学旅行で見ると、勾玉も石があんなにすぐに削れるとは思っていませんでした。勾玉を実際に作ってみると、とてもおもしろかったです。

火おこしもやってみるととても手が疲れました。昔の人は火を使う時にとても大変だったと思いました。こんなにたくさんの体験をさせてくれてありがとうございました。

岡添 聖也

新発見考古速報展

発掘された

日本列島(1000)

文化庁と開催館七館の主催による「新発見考古速報展 発掘された日本列島(1000)」が平成一六年一二月四日(金)から平成一七年一月一〇日(祝・月)まで本館で開催されます。高知県での開催は、平成八年度以来となります。その間、考古学会は旧石器の捏造問題で大いに揺れました。

日本中で注目された旧石器時代から近世までの一級の二八遺跡の出土品がやってきました。縄文時代晩期約三〇〇〇年前の見事な漆製品や弥生時代の約二〇〇〇年前の褐鉄鉞の中に入れられたヒスイの勾玉や古墳に置かれた埴輪などを展示します。

そして、考古速報展一〇周年記念テーマ展示「あの遺跡は今」も開催されます。有名な遺跡の出土品が展示されます。例えば弥生人の人骨とそれに残った脳が確認された鳥取県青谷上地遺跡の出土品、そして奈良県からはあの日本最古の銭、富本銭が展示されます。また、鎌倉時代の蒙古襲来の元軍船から引き上げられた資料などがあります。



書人面土器 宮城県多賀城市市川遺跡 約1200年前



馬形埴輪と人物埴輪 群馬県中原II遺跡

土佐の民具14

チアイ場

土佐では馬の病氣予防や疲労回復のためにチアイ場や灸を、チアイとかウマヤキ(馬焼き)と呼んでいました。農山村ではチアイが年中行事として行われていましたが、これを行う施設をチアイ場と呼び集落単位で設置していました。

たとえば高岡郡榑原町猪ノ谷では写真のようなチアイ場へ馬を集めてつなぎ、馬医(今の獣医)が馬の脚や背中、舌などへ針を刺して血を出したり、焼灸を当てたりしていました。高岡郡仁淀村大植では夏の土用に博勞(牛馬商)を招き、馬の背中や脚へ焼灸を当て上顎や舌などへ針を刺していました。幡多郡大正町では春秋二回、各集落ごとに馬をチアイ場へ集め、馬医が脚や顎などを焼灸で焼き、背骨の両側や上顎舌などへ針を刺していました。幡多郡三原村や大月町でも春のシツケ(農耕開始)前と秋の取り入れ前の二回チアイが行われ、脚の内膝の関節、上顎、舌、尻尾の先端などへ真赤に焼いた鉄棒を当てていました。

チアイが終わると馬頭観音をまつり



馬は農耕用・荷駄用として西部の高岡・幡多郡に特に昭和三十年代後半から急速に減りました。馬がいなくなるとチアイ場も姿を消しましたが、チアイダバ、ウマヤキという小字地名や通称地名は今に残っています。

坂本

歴史クイズの陣

開館記念日（歴史の日）の五月三日（月・祝）、恒例の「歴史クイズの陣」を行いました。

小雨にもかかわらず、開館時間前に数名の来館者の方が訪れてくれました。入館者七四名で昨年より二〇〇名程度上回りました。県民の方に「歴史の日」が徐々に定着し始めたのではないのでしょうか。

ゴールデンウィークの中日とあって、家族連れで「クイズの陣」に挑戦する姿が目立ちました。ワクワクワーク「土佐民話の家」、企画展「石の仏」展示室トークも開催され、クイズとあわせて多彩な行事が行われました。

「歴史クイズの陣」への参加者は四四〇名でした。そのうち全問正解者二〇六名より抽選で一〇名の方にパーフェクト賞の図書券を送りました。



答え

- 1-④ 11-②
- 2-③ 12-③
- 3-② 13-①
- 4-③ 14-①
- 5-① 15-②
- 6-④ 16-②
- 7-② 17-④
- 8-③ 18-②
- 9-④ 19-①
- 10-③ 20-②



2004 歴史クイズの陣 クイズ問題です。

ヒント…各時代を参考に展示室へいってみよう

【3階総合展示室】

●縄文時代

- 1 縄文時代の不動ヶ岩屋洞穴遺跡は、どこの市町村にありますか。
①高知市 ②南国市 ③土佐山田町 ④佐川町
- 2 「土佐のあけぼの」のケースの壁に貝殻がついたものが展示されていますが、これはなにですか。
①田村遺跡群出土の堅穴住居跡の土壁
②岡豊城跡の柱跡 ③宿毛貝塚の貝層

●弥生時代

- 3 弥生時代、稲の穂を摘むときに使われた石の道具はなんと呼ばれていますか。
①扁平片刃石斧 ②石包丁 ③石鎌
- 4 田村遺跡群から出土した青銅製の小さな棒状の物はなにですか。（展示品をよくみてみよう）
①刀 ②釘 ③銅鐸舌

●古墳時代

- 5 展示されている石室模型の古墳は、どこの古墳群のものですか。
①舟岩古墳群 ②長畝古墳群 ③定林寺古墳群
④蒲原山古墳群

●奈良・平安時代

- 6 土佐国分寺跡から818年に鑄造された銭貨が木にさして9枚出土していますが、このお金の名称はなんといいですか。
①和同開珎 ②寛永通宝 ③永楽通宝 ④富寿神宝

●室町時代

- 7 土佐出身で、將軍足利義満にも接したお坊さんの名は？（展示している古文書から探してね）
①絶体絶命 ②義堂周信 ③絶海中津 ④一休さん

●戦国・桃山時代

- 8 長宗我部元親の初陣に関係するものをさがしてください。
①お椀 ②げた ③兜 ④おはし

●江戸時代

- 9 土佐内家の家紋を何といいいますか。（肖像画や肩衣をよく見てみよう）
①かたばみ紋 ②みつびし紋 ③きくすい紋
④みつばかしわ紋
- 10 往来切手に書かれている旅の目的は何ですか？（ヒント：此度〇〇為修業…）このたび、〇〇修業のため
①剣術 ②大工 ③医術

- 11 山内容堂詠歌の扇面（扇子）に描かれている鳥は何でしょう？

①ウグイス ②ホトトギス ③カッコウ

- 12 展示されている坂本龍馬書状にも登場する伏見の旅館寺田屋の女主人は誰でしょう？

①乙女 ②お龍 ③お登勢

●近現代

- 13 小学校授業風景図絵馬はどこの学校の授業風景が描かれている？

①高岡東小学校 ②春野東小学校 ③旭東小学校

- 14 蓄音機の製造元はどこの会社でしょう？

①トーマスエディソン社 ②ビクター社 ③ソニー社

【3階企画コーナー】

- 15 土佐市居徳遺跡群から出土の土器片は大洞式土器の壺形土器です。ではこの大洞式土器とはどの地方の土器形式でしょう？

①九州地方 ②東北地方 ③近畿地方

【2階民俗展示室】

●海の民俗

- 16 神像の恵比須が左手にかかえているものは何ですか？

①米俵 ②鯛 ③打ち出の小槌

●山の民俗

- 17 山の妖怪をあらわす「六ツ王・八ツ王・九ツ王の幣」の顔の数は？

①6つ ②8つ ③9つ ④10

●野の民俗

- 18 稲の豊作を祈る吉良川の御田祭で田を耕すどうぶつの名前は何でしょう？

①犬 ②牛 ③馬 ④鹿

●鍛冶

- 19 鍛冶屋さんの仕事場で、弟子がまわし打ちをするため手に持っている道具は何ですか？

①大槌 ②金槌 ③ハシ ④エバリ

【1階企画展示室】

●企画展「石の仏」

- 20 展示されている県指定の山川阿弥陀堂板碑の中央に彫られている像はなにですか。

①不動明王（お不動さん） ②地藏菩薩（お地藏さん）

③釈迦如来（お釈迦さん）



新刊のご案内



高知県立歴史民俗資料館 研究紀要第13号

【調査報告】

土佐の長太刀について
…小笠原信夫
室戸市中道寺所蔵の伝日蓮
真蹟について …寺尾英智
坂本龍馬湿板写真の調査経
緯について
…三井圭司・山口孝子

土佐・石造塔婆・石仏研究史Ⅰ 一板碑一
…岡本桂典
長宗我部元親の右筆とその周辺
…野本 亮
「おけけポスト便」から 一妖怪・幽霊アンケート資料集一
…梅野光興 編

A4版64頁 頒価400円(送料290円)



平成15年度 収蔵資料目録第4集

高知県立歴史民俗資料館
古鏡目録

A4版33頁

頒価450円
(送料210円)



平成15年度 収蔵資料目録第5集

堀見家書籍目録

A4版28頁

頒価320円
(送料210円)

館受付で販売中。郵送希望者は送料とあわせて
現金書留か郵便振込でお申し込みください。

口座番号 01610-2-61369
加入者名 (財)高知県文化財団

岡豊風日(おこうふうじつ) 第51号
平成一六年九月一日
編集・発行 高知県立歴史民俗資料館
〒783-0044 南国市岡豊町八幡1099-1
TEL 0888-8622211
FAX 0888-8622110

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(祝日及び振替休日
にあたる場合は翌日) 12月27日
～1月1日、臨時休館日あり

入館料 通常期(常設展)大人(18歳以上)
450円・団体(20人以上) 300円

無料・高校生以下、高知県及び高知市長寿
手帳所持者、療育手帳・身体障害者
手帳・障害者手帳・戦傷病者手帳・
被爆者健康手帳所持者とその介護
者(1名)

印刷: 嵯飛鳥

歴史民俗資料館ホームページアドレス・Eメール
<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/rekimin/>
Eメール: rekimin@kochi-bunkazaidan.or.jp

平成16年9月～平成16年12月の催し物

特別展

「土佐国分寺 -四国八十八ヶ所霊場①-」

平成16年10月1日(金)
～11月7日(日)

四国88ヶ所霊場第29番札所摩尼山国分
寺の宝物を紹介します。

平安時代後期の木造薬師如来立像(重
要文化財)や絹本着色両界曼荼羅(県指定
文化財)などの宝物とともに、特に今回は土
佐国分寺の考古資料、板絵両界光明真言
曼荼羅など四国88ヶ所霊場や弘法大師信
仰に関する貴重な資料も展示します。



板絵両界光明真言曼荼羅 胎藏界

講演会

演題: 「修行と霊場」

講師: 立正大学名誉教授 文学博士 中尾 堯氏 たかし

平成16年10月16日(土) 午後2:00～4:00

会場: 2階AVホール

定員100名(先着順) 葉書かEメールで住所、氏名、電話番号をご記入のうえお申し込み下さい。

展示室トーク

平成16年10月9日(土)・30日(土) 午後2:00～3:00

会場: 1階企画展示室・3階総合展示室

解説: 当館学芸員 <お申し込みは不要です>

ワクワクワーク

土佐民話の家⑭ 「お大師さんの話」

講師: 市原麟一郎 氏

平成16年10月23日(土) 午前10:00～11:00

定員30名(先着順) 電話かEメールでお申し込み下さい。

特別巡回展

「発掘された日本列島2004」

新発見 考古速報展

平成16年12月4日(土)～平成17年1月10日(月・祝)

毎年文化庁が主催しております「新発見考古
速報展」が8年ぶりに本県で開催されます。旧石
器時代から近代の全国各地で話題を呼んだ考
古資料を展示します。

また、考古速報展10周年の記念「あの遺跡
は今」として、青森県三内丸山遺跡などの注目
の資料も展示します。同時に県内の発掘調査
の成果も紹介する地域展も開催を予定しています。



大阪城瓦

入場料	大人(18歳以上)	団体(20人以上)
常設展	450円	360円
特別展 土佐国分寺	600円	480円
	前売券 480円	
特別巡回展 発掘された日本列島2004	700円	560円

平成16年の 臨時休館のお知らせ

☆特別展展示替えのため☆

● 9月29日(水)～9月30日(木)

● 11月8日(月)～11月9日(火)

● 11月29日(月)～12月3日(金)